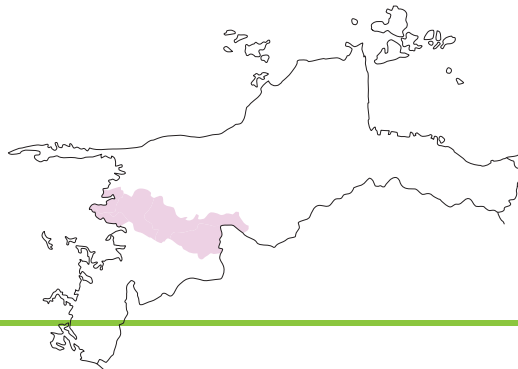


サンピュア オイル 企業組合



西予市

休耕田、耕作放棄地および転作田を活用した景観作物（菜の花・ヒマワリ）栽培・搾油・飼料化による循環型エコノミー事業

1 事業内容

休耕田や耕作放棄地および転作田を活用して“ヒマワリ”“菜の花”栽培、景観作物などに利用し、その後“ヒマワリ”“菜の花”を搾油、食油として家庭や学校給食、飲食店に提供するとともに、油かすは飼料化、肥料化などにより堆肥として“ヒマワリ”“菜の花”畑に利用する循環型エコノミー事業に取り組んでいく。

2 事業背景

酪農業界を取り巻く環境は厳しく、農畜産物価格の低迷や燃料、飼料などの生産資材の高騰により、畜産農家は廃業も視野に入れた厳しい経営が続いている。

愛媛県内の5割のシェアを持つ西予市の基幹産業である畜産業の衰退は、地域経済の崩壊にもつながりかねない重要課題となっている。

一方農業についても、小規模農家の後継者不在・高齢化など、農地の保全が大変厳しい状況にあり、双方の問題解決に向け、本事業に取り組むこととした。

3 事業、技術、商品の特徴

休耕田や耕作放棄地および転作田を活用して“ヒマワリ”“菜の花”を栽培、景観作物などに利用し、その後搾油したものを、家庭や学校給食、飲食店に提供するとともに、絞りかすは飼料化・肥料化などにより消費することで、“ヒマワリ”“菜の花”にまつわる一連の流れを構築する。

現在、ヒマワリ油・石鹸の商品開発に取り組み、ヒマワリ油については自社製造、石鹸についてはOEM製造としている。



4 助成内容及び効果

今回の事業により購入した設備機器等により、広大な農地の管理について、作業従事者の適正配置が可能となり、作業の効率化が図られた。また、搾油機器については、ヒマワリ・ナタネの区別なく搾油が可能であるため、別々の搾油器を購入する必要がなく、最小限の設備投資で搾油ができることとなった。休耕田や耕作放棄地及び転作田を活用して“ヒマワリ”“菜の花”栽培面積の拡大を図ることにより、エコロジー（環境保全）とエコノミー（地域振興活性化）が共生、調和した地域づくりへの第一歩を踏み出すことができた。



5 今後の展望

ヒマワリ油を短時間に大量生産するための精油機器改良、作付け面積の拡大に伴う貯留タンクの新設、および製造工場の拡大等が今後の課題である。

引き続き、畜産農家と小規模農家の連携を通して、耕作放棄地および転作田を利用した“ヒマワリ”“菜の花”の栽培・食用油化及び販売活動に努め、地域活性化策のモデルの一つとして確立させていきたい。



前列の右が井関代表

Message From Entrepreneur

これからも、安全・安心な植物油と肌に優しい石鹸の販売を続け、さらには地域の雇用を確保するため努力します。

企業概要

〔代表者〕 代表理事 井関 智史
 〔住所〕 西予市野村町野村16号383番地1
 〔設立〕 平成21年6月
 〔TEL〕 0894-69-2533
 〔FAX〕 0894-69-2533
 〔URL〕 <http://www.sunpure-oil.jp/>